

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号  
実用新案登録第3155015号  
(U3155015)

(45) 発行日 平成21年11月5日 (2009. 11. 5)

(24) 登録日 平成21年10月14日 (2009. 10. 14)

(51) Int. Cl. F 1  
**A 4 3 B 23/04 (2006. 01)** A 4 3 B 23/04  
**A 4 3 B 23/10 (2006. 01)** A 4 3 B 23/10  
**A 4 3 B 23/17 (2006. 01)** A 4 3 B 23/17

評価書の請求 未請求 請求項の数 2 書面 (全 4 頁)

(21) 出願番号 実願2009-5474 (U2009-5474)  
 (22) 出願日 平成21年7月13日 (2009. 7. 13)

(73) 実用新案権者 509195630  
 若林 秀樹  
 千葉県市原市八幡北町2丁目5番地13号  
 (72) 考案者 若林 秀樹  
 千葉県市原市八幡北町2丁目5番地13号

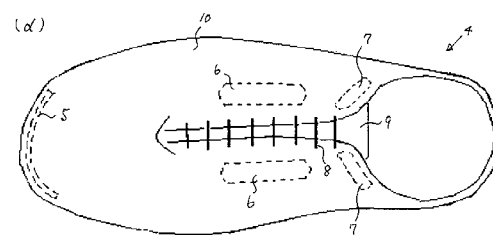
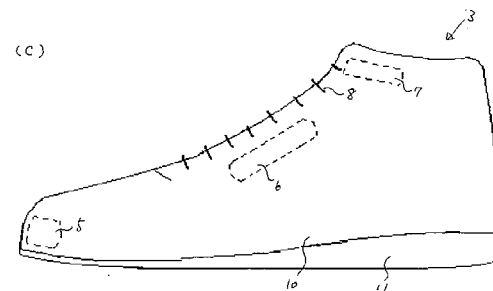
(54) 【考案の名称】護身格闘サバイバルシューズ

(57) 【要約】

【課題】 履き心地・美観・動きやすさを損なわずに靴の足部保護機能を高め、靴着用者の護身・格闘・スポーツにかかる能力を向上させ、加えて災害時に生き残る力をも高め、もって商品の付加価値を高め、購買意欲を喚起し、靴の需要増大に資する。

【解決手段】 靴の内側または外側または靴構造素材内部に合成樹脂または金属の保護板を配し、縫製または接着剤での接着により固着したものである。保護板は爪先部と甲の内側部に加え、靴の構造および機能上の配慮から足首前部と甲の外側にも装着することで、より高い足部保護力が得られる。

【選択図】 図 2



**【実用新案登録請求の範囲】****【請求項 1】**

短靴的形状の靴または中編上靴的形状の靴の、内側または外側または靴構造素材内部の、爪先部と甲の内側部に、合成樹脂または金属の保護板を装着し、足部保護力を高めた保護板装着靴構造。

**【請求項 2】**

請求項 1 記載の保護板を靴に装着するに際し、爪先部と甲の内側部に加え、足首部と甲の外側部にも装着することで、足部保護力が広範になることを特徴とする請求項 1 記載の保護板装着靴構造。

**【考案の詳細な説明】**

10

**【技術分野】****【0001】**

本考案は、靴の機能と構造に関し、その構造において、靴の内部又は外部又は靴構造素材内部に合成樹脂の板又は金属板を装着することにより、従来よりの靴の機能に加え、護身および格闘に寄与する機能を付加する構造に係わる。

**【背景技術】****【0002】**

従来から、靴の主たる機能としては、足部保護、足部防暑、足部防寒、足部装飾、足部水濡れの防除、運動性能の向上などであり、性別・年齢にかかわらず幅広く利用されてきた。一方近年においては、類似商品との差別化および需要者の購買意欲を喚起するために、色々なデザインや機能上の工夫を施すことが重要になってきている。

20

**【0003】**

例えば、足部の保護を目的とし、靴の保護力強化のため、紐状の引張り体を靴前部からくるぶしにかけて交差させて留め、あるいは紐状の引張り体を靴前部からくるぶしにかけてリングを介して留める安全靴が発明されている（特許文献 1）。

**【0004】**

また、足の甲を中心とした足部の保護を目的とし、靴の甲部上面を硬質系素材で覆う後付けの靴用プロテクターが発明されている（特許文献 2）。

**【0005】**

また、安全靴の爪先芯の形状および材質については、数多くの発明がなされている。

30

**【0006】****【先行技術文献】****【特許文献】**

**【特許文献 1】** 特許公開 2007-136064 号広報

**【特許文献 2】** 特許公開 2008-264050 号広報

**【考案の概要】****【考案が解決しようとする課題】****【0007】**

しかしながら、特許文献 1 の発明も特許文献 2 の発明も、作業現場での安全がその目的であり、靴着用時の動きやすさや重量についての配慮は、ほとんど作業現場という環境内で使用されることを前提的要件として捉えたうえでなされている。また、故に普段の着用をするに際しての美観や動きやすさは、好ましいものではない。

40

**【0008】**

本考案の目的は、護身、格闘、災害時、またはサッカーなどのスポーツやハイキングにおいて着用するに適した、安全で、動きやすく、丈夫で、かつ美観が良い靴を提供することである。

**【0009】**

本考案になる靴は外観上も履き心地も違和感がほとんどなく、かつ衝撃からの足部保護機能を大きく向上させる。これにより本考案は着用者の足に係る運動能力を向上させ、護身、格闘、サッカー等スポーツの能力などを高める。またこれにより、商品の付加価値を高

50

め、購買意欲を喚起し、靴の需要増大に資することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0010】

本考案の靴は、ポリプロピレンなどの合成樹脂の板又はアルミニウム・ジュラルミン・真鍮・鉄などの金属の板を爪先と甲の内側に、また靴の形状や機能面での配慮によっては足首前部や甲の外側にも配し、衝撃からの足部保護機能を向上させたものである。

【0011】

機能性、デザイン性を考慮した上、前記保護板を靴の内側もしくは外側もしくは靴の構造素材内部に配し、縫製や接着剤による接着などにより固着し、履き心地も考慮したものである。

【考案の効果】

【0012】

本考案の保護板装着靴構造は、保護板による足部保護機能の向上により、着用者の運動能力を向上させ、よって護身・格闘能力、スポーツ能力、災害時のサバイバル能力などに寄与する。

【0013】

爪先部、甲の内側部、足首前部、および甲の外側部の各保護板は、物が足に落下した時や物を蹴りあげたときの足にかかる衝撃から足部を保護する。

【図面の簡単な説明】

【0014】

【図1】 (a)、(b)はそれぞれ本考案の保護板装着靴構造に使用する保護板を爪先部と甲の内側部に装着した右足の短靴的形状の靴の側面図と上面図である。

【図2】 (c)、(d)はそれぞれ本考案の保護板装着靴構造に使用する保護板を爪先部と甲の内側部に加え、足首前部と甲の外側部に装着した右足の中編上靴的形状の靴の側面図と上面図である。

【符号の説明】

【0015】

- 1 . . . . . 右短靴的形状靴側面図
- 2 . . . . . 右短靴的形状靴上面図
- 3 . . . . . 右中編上靴的形状靴側面図
- 4 . . . . . 右中編上靴的形状靴上面図
- 5 . . . . . 爪先部保護板
- 6 . . . . . 甲部保護板
- 7 . . . . . 足首前部保護板
- 8 . . . . . 靴紐
- 9 . . . . . ペロ
- 10 . . . . . 靴本体
- 11 . . . . . 靴本体底部

【考案を実施するための形態】

【0016】

本考案の保護板装着靴構造について、その靴の形状および保護板の形状は広範に形成できるが、その実施の最良の形態について、図面に示す実施例に基づいて、具体的に説明する。

【実施例】

【0017】

図1は、保護板を右足短靴的形状の靴の爪先部と甲の内側部に装着した図である。これにより物が足に落下した場合と物を蹴りあげた場合の衝撃から、装着部周辺を保護する。

【0018】

図2は、保護板を右足中編上靴的形状の靴の爪先部と甲の内側部に加え、足首前部二か所と甲の外側に装着した図である。これにより物が足に落下した場合と物を蹴りあげた場

10

20

30

40

50

合の衝撃から、装着部周辺を保護する。

【0019】

図1および図2は装着例であり、機能性および経済性および美観を損なわず、保護板の形状を適切に調整して装着する。

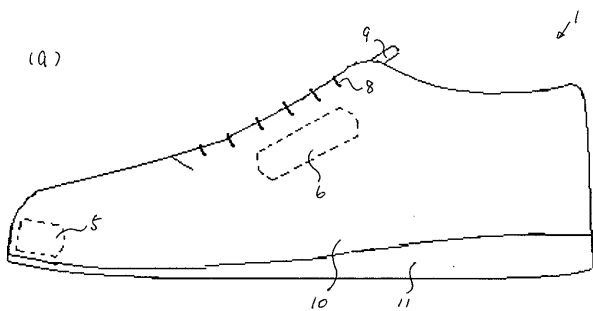
【産業上の利用可能性】

【0020】

保護板を装着することにより、足部保護機能を向上させ、これにより装着者の護身能力、格闘能力、災害時のサバイバル能力、スポーツ能力などを向上させる。加えて履き心地や美観も損なうことがないため、購買者の商品満足度を高め、さらなる購買意欲を喚起し、産業の発展に資することができる。

10

【図1】



【図2】

